

研修報告書No. 1 8

県外大学病院研修医

神奈川県以外での医療を体験した事のない私にとって、高知県での地域研修は、学ぶ事や得られたものが非常に多かったように思います。

まず、最も違いを感じた事は医師の数です。神奈川県では医師や研修医が多く、特に大学病院では事細かな専門分野に分かれており、専門性の高い医療体制がとられています。しかしながら地域では医師の数が少なく、大学病院で数人の医師によってされていることを一人の医師のみで行っている場合が多いです。医師の数が足りない地域においては、一人の医師が何でもこなす事の出来る総合医である必要があると感じました。

次に、患者層の違いです。大学病院と比較して、患者層が高齢でした。特に診療所研修をさせていただいた〇〇町では、高齢化率が 50%を超えると知り驚きました。その上で、かかりつけ医の大切さを実感しました。大学病院とは違い、普段から診ている患者のちょっとした違いに気づく事が出来るのは、かかりつけ医だと実感しました。病院や診療所にくる事すら大変な高齢の方などにとっても、地域医療がいかに大切なのかを学ぶ事が出来ました。

今回の研修では訪問診療やグループホームやデイサービスなどの施設を研修する事が出来た事はとても勉強になりました。訪問診療に伺ったことで、本来自分が忘れていた初心を思い出すことが出来たと思います。検査や画像などは医療においてとても大切なことですが、それ以上に大切なことは患者本人を診るということです。その基本的な事を訪問診療研修で再確認する事が出来ました。グループホームやデイサービスなどは普段の研修ではなかなかそのような施設を見学する機会がなかったのでとても新鮮かつ勉強になりました。どのような目的でどのようなことを行う施設なのか、そしてその現状を知ることができ、今後は患者が大学病院を退院した後の生活についても考える事が出来るようになったと思います。

また、お看取りに関しても患者本人の意見がとても大切にされており、その家族も十分に理解して見守る事が多く、大学病院よりも患者本人の人間としての尊厳が保たれているように感じました。

最後になりましたが、高知県での研修が非常に充実していた理由の一つに、研修の環境があったと思います。□□病院を初め◇◇診療所の先生やメディカルスタッフの方々は非常に優しく、そしてお忙しい中でも色々な事を教えて下さいました。高知県の方は陽気で優しい方が多く、研修医に対しても嫌な顔一つせずに診察させてくださった事は、大変感謝すべき事です。それは、医師患者間において信頼関係が成り立っているからこそで

はないかと思いました。このような研修環境であったからこそ、非常に充実した研修期間を送る事が出来たのだと思います。

今回の高知県研修は私にとってかけがえのない研修であり時間であり、またかけがえのない人との出会いでもありました。学び、そして感じた事を忘れずに、今後の大学病院での研修、そして研修が終わってから医師としての人生に大いに活かして行きたいと考えます。